

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立津山工業高等学校
実践場面	文化祭での企業ガイダンス
実践日時（時期）	令和6年11月9日（土）峰南祭文化の部一般公開
対象生徒（学年）	全校生徒・保護者
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ 商工会議所・商工会 ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（津山市産業経済部、美作市産業政策部）
学びの分類	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

実践の内容

【現状】

- ・本校には、地域産業の担い手の育成や人材の輩出が期待されており、そのためには、生徒が地域の産業を知り、地元の企業に興味・関心を持つことが重要となる。
- ・地元就職に興味関心を持たせるためには、これまで以上に、生徒と地元企業との接点を増やす取り組みが求められる。
- ・また、進路決定に際して、保護者からの理解も得るために、保護者にも地元企業について知ってもらうことも重要となる。

【実践内容】

- ・津山市産業経済部仕事支援室と連携し、峰南祭文化の部の一般公開日に合わせて、生徒や保護者を含む文化祭の参加者を対象に、企業説明会を行った。
- ・津山市の企業は、津山市キャリア教育支援事業を活用し、登録している企業に参加をお願いした。また、津山市役所、岡山県警、自衛隊の参加もお願いした。
- ・美作市には、美作市内の企業の参加をお願いした。真庭市内の企業については、進路課からお願いをした。
- ・津山市内8社、美作市内7社と美作市内の専門学校1校、真庭市内2社、公務員関係の計21のブースが設置され、ガイダンスが行われた。
- ・会場準備や運営については、津山市、美作市が行い、当日は、本校新体育館1階を会場として実施した。
- ・ガイダンスは時間制限等を設けず、生徒や保護者は自由に各ブースに参加し、企業の説明を聞いてもらった。



実践による効果等

- ・生徒は、直接企業の方と話をすることで、地元で就職する意義や地元で働いている方の職業観に触れることができる貴重な機会となった。
- ・保護者は、地元企業を知る機会となり、今後もこのような機会を増やしてほしいとの意見が多かった。
- ・企業は、従来の生徒のみならず保護者と直接関わりを持つことで、保護者へのアピールや保護者の考えも理解することができる機会となり、とても充実したものとなった。